

# リズムニュース

米沢市立病院

循環器科

第21号 2014年11月

## ペースメーカーの交換術

今回はペースメーカー交換術についてご説明いたします。ペースメーカーの電池寿命はその人によって異なりますが平均 9 年(最高21年)です。最近ペースメーカーチェックをすることにより、あと何年使えるか、わかります。少し余裕を持って入院し交換手術を受けましょう。

**入院期間**:手術の二日前に入院し、手術後1週間で退院です。

**電池とリード**:ペースメーカーは電池の部分とリードに分けることができます。リードは約20年程度使用できることが多く、1回目の交換手術の時にリードも交換する確率は多くありません。電池交換の手術の時にリードの状態を確認し、継続使用が出来るような場合は同じリードに新しい電池を取りつけます。

電池交換は時計の電池を変えるように行うのではなく、ペースメーカー本体を交換します。リードに不具合があれば新しいリードを追加します。古いリードは抜去しません。



**手術時間**:リード交換がなければ初回の植え込み時と比べて短く、術後の運動制限もありません。

**手術の合併症**:リード交換がなければ大きな合併症はありませんが次のようなリスクがあります。

**リードの癒着**:先に入っているリードと血管が癒着して狭くなり、新しいリードが入れづらいことがあります。血管を傷つけたり、内出血するリスクがあります。

**感染症**: 初回の手術より2回目3回目の手術のほうが、傷から細菌が入る率が高くなります(0.5-0.7%) ペースメーカーの周りに膜ができるため血流が乏しくなり、菌が繁殖しやすくなるためです。こんな風にペースメーカーが透けて見えるようになったり周りが赤くなってきたら早めに受診しましょう。



#### **手術の費用**

1級身体障害者(月額)	低所得者	0円
	一般	44400円

上記に食費、個室代、病衣代がかかります。更生医療の手続きをすることで上限が10000円になる方もいらっしゃいますので、相談室で相談しましょう。